



ウェブマスターのための Google 情報

[ホーム](#)

[Google について](#)

ウェブマスター関連情報

[よくある質問](#)

[ガイドライン](#)

[通説と事実](#)

[SEO](#)

[Googlebot](#)

[削除](#)

サイト内を検索:

検索

ウェブマスターのためのガイドライン

次のガイドラインに沿ってサイトを作成すると、Google のインデックスに登録されやすくなります。ガイドラインに沿ったサイトを作成しない場合も、「品質に関するガイドライン」を読むことを強くお勧めします。このガイドラインでは、Google のインデックスから完全に削除される可能性のある不正なサイトについて説明しています。削除されたサイトは、Google や Google のパートナー サイトの検索結果に表示されなくなります。

デザインおよびコンテンツに関するガイドライン

- わかりやすい階層とテキスト リンクを持つサイト構造にする。各ページへは、少なくとも 1 つの静的なテキスト リンクからアクセスできるようにします。サイトの主要なページへのリンクを記載したサイト マップを用意する。サイト マップ内にリンクが 100 以上ある場合は、サイト マップを複数のページに分けます。情報量が豊富で便利なサイトを作成し、コンテンツをわかりやすく正確に記述する。ユーザーがサイトを探すときに入力する可能性の高いキーワードをサイトに含める。重要な名前、コンテンツ、またはリンクを表示するときは、画像の代わりにテキストを使用する。Google のクローラでは、画像に含まれたテキストは認識されません。TITLE タグおよび ALT タグの説明をわかりやすく正確なものにする。
- 無効なリンクがないかどうか確認し、HTML を修正する。
- 動的なページ (URL に "?" が含まれているページなど) を使用する場合、検索エンジンのスパイダーによっては、静的なページと同じ様にはクロールされない場合があることを考慮する。パラメータを短くしたり、数を少なくすると、クローラで見つけやすくなります。
- 1 つのページに表示されたリンクの数を適切な数に抑える (100 未満)。

技術関連のガイドライン

- Lynx などのテキスト ブラウザを使用してサイトを確認する。ほとんどの検索エンジン スパイダーは、クロール時に Lynx に表示される形式で各サイトを認識します。テキスト ブラウザで、Javascript、cookie、セッション ID、フレーム、DHTML、Flash などの特殊な機能を使用して作成されたサイトの一部が表示されない場合は、検索エンジンスパイダーがサイトをクロールするときに問題が発生する可能性があります。
- セッション ID やサイト内のパスを追跡する引数がなくても、検索ロボットがサイトをクロールできるようにする。これらのテクニックは個々のユーザーの動きを追跡する場合に便利ですが、ロボットがアクセスするパターンとはまったく異なります。これらのテクニックを使用すると、一見異なっているようで実際は同じページにリンクしている URL をロボットが排除できず、そのサイトのインデックスが不完全なものになる可能性があります。
- ウェブ サーバーが If-Modified-Since HTTP ヘッダーに対応していることを確認する。この機能を使用すると、Google が前回サイトをクロールした後にコンテンツが変更されたかどうかを、サーバーからクローラに通知し、帯域幅や負荷を軽減できます。
- ウェブ サーバーの robots.txt ファイルを活用する。このファイルでは、クロールを実行するディレクトリと実行しないディレクトリを指定できます。誤って Googlebot クローラがブロックされることのないよう、このファイルにサイトの最新の状態が反映されていることを確認してください。サイトへのロボットのアクセスを制御する方法については、次の URL (英語) をご覧ください。

<http://www.robotstxt.org/wc/faq.html>

- コンテンツ管理システムを導入する場合は、検索エンジン スパイダーがサイトをクロールできるように、システムからコンテンツをエクスポートできることを確認する。
- URL で "&id=" パラメータを使用しない。このパラメータを含むページは Google のインデックスに登録されません。

サイトの準備ができたなら

- 他の関連するサイトからリンクする。
- <http://www.google.co.jp/addurl.html> から Google にサイトを申請する。
- [Google Sitemap \(Beta\)](#) プロジェクトでサイト マップを送信する。[Google Sitemap](#) では、サイト マップを使用してサイトの構造を認識し、ウェブ ページのクロール率を向上させることができます。
- 必要なすべてのサイトにサイトが公開されたことを連絡する。
- [Open Directory](#) プロジェクト、[Yahoo!](#)、およびその他の業界専門サイトなどの、適切なディレクトリにサイトを登録する。

品質に関するガイドライン - 基本方針

- 検索エンジンではなく、ユーザーの利便性を考慮してページを作成する。ユーザーを騙すようなコンテンツや、"クローキング" を行って検索エンジン用に異なるコンテンツを表示しないでください。
- 検索エンジンでの掲載位置を上げるための不正行為を行わない。判断の目安となるのは、ランクを競っているサイトに対して自分が行った対策を説明したときに、何もやましい点がないかどうかです。その他にも、ユーザーにとって役立つかどうか、検索エンジンがなくても同じことをするかどうか、などのポイントを確認してみてください。
- サイトの掲載位置や [PageRank](#) を上げるためのリンク プログラムに参加しない。特にウェブ スパマーや不正なウェブ サイトへのリンクは行わないでください。これらのリンクにより、サイトのランクが下がることがあります。
- 不正なコンピュータ プログラムを使用して、ページの登録やランクの確認を行わない。このようなプログラムの使用はコンピュータのリソースを消費し、[Google の利用規約](#) に違反します。Google では、自動化またはプログラム化されたクエリを Google に送信する [WebPosition Gold™](#) などの製品の使用は推奨していません。

品質に関するガイドライン - 推奨

- 隠しテキストや隠しリンクを使用しない。
- クローキングや不正なリダイレクトを行わない。
- Google に自動化されたクエリを送信しない。
- コンテンツに関係のない言葉をページに記載しない。
- 複数のページ、サブドメイン、ドメインで同じコンテンツを公開しない。
- 検索エンジン用に誘導ページを作成したり、オリジナルのコンテンツがほとんどない提携プログラムのような見掛け倒しのプログラムを使用しない。

この品質に関するガイドラインでは一般的な偽装行為や不正行為について説明しましたが、ここに記載されていない不正行為についても、Google では否定的な対応策を実施することがあります (著名なウェブ サイトのスペルを少し変えただけの名前で登録するなど)。また、Google では、このページに記載されていない不正行為についても許可していません。上記の基本方針を守るために努力しているウェブマスターが作成するページは、抜け道ばかりを探している人が作ったページよりも、ユーザーに好感を与え、その結果としてランクも上がるはずで

Google の品質に関するガイドラインに違反すると思われるサイトを発見し

た場合は、次の URL から報告してください。

<http://www.google.co.jp/webmasters/spamreport.html>

Google では、手動での不正行為対策を最小限に抑えるため、これらの問題に対して拡張性のある自動化されたソリューションの開発に努めています。お送りいただいた情報は、不正行為を検出および防止するためのアルゴリズムの開発に役立たせていただきます。



©2005 Google - [ホーム](#) - [Google について](#)